

福島発の省エネ塗装技術 世界が注目

ガラスに透明な「日傘」



フミンコーティングを塗ったガラスと、普通のガラスを並べてランプを当て、温度上昇の差を示す。海外展示会では行列ができる＝福島市郷野目のフミン本社

世界が注目するガラス塗装技術を、福島市にある社員4人の会社が発信している。紫外線、赤外線をカットする塗料をガラスに吹き付ける技術で、日焼けによる室内の変色を抑えるとともに、室温の上昇を防ぐことができる。

1978年設立の農業環境資材メーカー「フミン」。暑さの元になる赤外線を7割カットし、室温上昇を防止、冷房の使用を抑えることができる。紫外線のカットは肌の健康にもいい。八木澤勝夫社長は「透明な日傘のようなもの。夢の技術だ」と話す。

これまで、全面ガラス張りの東京・六本木の国立新美術館で採用されたほか、東南アジアや中国など暑さや電力不足に悩む国々が飛びついた。シンガポールの政府系教育機関、インドネシアのショッピングモールなど、実績は6カ国約50件にのぼる。昨年12月には南アフリカで開かれたCOP17に招かれ、フミンの省エネ技術が紹介された。開発のきっかけは、結露で曇った窓ガラスを見たことだった。結露は外気との温度差があるから起こる。「窓ガラスに熱を吸収させ

社員4人の会社 震災経て「広めたい」

れば結露しなくなるんじゃないか」。携帯電話もヒントになった。タッチパネルは熱を吸収することで動作する。同じものをガラスに塗れば、熱を吸収させることができるはず。そう考えて塗料を開発したが、それをガラスに塗る技術が難関だった。スポンジで塗るとムラができ、スプレーで吹き付けると、曇りガラスになった。スプレインゾルを調整し、塗料が垂れ落ちる前に風圧で押さえつけて乾かす方法を編み出したのは、塗料を開発してから3年後のこと。07年には特許を取得した。施工は代理店に任せ、フミンは材料費と技術マージンを得るビジネスモデルが完成した。震災を経て、この技術を広めたいという思いが強まったという。八木澤社長は「再生可能エネルギーにもそれぞれ課題がある。それよりも電気の使用を抑えることを考えるのが一番」と話している。(岩波精)



クールビズ前倒し 大東銀が来月から 大東銀行(郡山市)は、節電のために軽装で働く「クールビズ」を5月1日から始める。昨年も同月9日から始めており、今年はさらに前倒しする。期間は例年より1カ月延長して10月末まで続ける。

10月末となると寒くなるが、同行一人ひとりが1枚織るなどして取組むなどして取り組むにつれ、来客に理解を野田政権は例年より早くこの期、企業にも協力していく方針を示して

「年内に全戸除染」 作業促進へ説明会

福島市 渡利地区住民に

福島市内で比較的放射線量が高く、重点除染地域となっている渡利地区の住民に対する市の説明会が始まった。遅れている除染作業の促進に理解を求めるとともに、約6800世帯全戸の除染を年内に終わるという目標を掲げ、担当者が全町内会を回るとしている。25日夜、渡利小での説明会には地域住民約200人が

が集まり、市危機管理室の草野利明・防災専門官が「学校など子どもが使う公共施設から優先的に進めてきた」などと説明した。渡利地区の一般住宅の除染作業は2月から始まったが、今年24日までに終了したのは127戸、実施中は127戸で合わせても5%

に満たず、工程上では2カ月近い遅れ。今冬の大雪と汚染土の仮置き場を確保できていないのが難航の理由だが、仮置き場は今も定まっていることから、市は当面、各家の庭に埋めるなど敷地内での保管を求めている。ほかの地区で除染が完了した住宅では庭の地表1センチで、6割以上の除染効果が出ているという。市は、今後2年間の重点除染期間内に毎時1センチベルト以下に、5年間の計画期間内には年間積算線量1ミリベルト以下を目指すとしている。

原発事故直後、県が入手していた「緊急時迅速放射能影響予測システム(SPEEDI)」による放射性物質の拡散予測データを活用しないまま消去していた問題で、佐藤雄平知事は25日、定例会見で「県民に心配をかけ、申し訳ない」と謝罪した。佐藤知事は、震災翌日の昨年3月12日から16日朝までに、予測結果が添付された電子メール86通のうち65通を職員が消去したこと

「緊急時迅速放射能影響予測システム(SPEEDI)」消去問題で、県は25日、関係した幹部職員2人を書面訓告、データを消去した男性職員2人を嚴重注意とする処分を発表した。当時の災害対策本部で事務局次長だった荒竹宏之・生活環境部長を職員への指導、監督が不適切だったとして書面訓告。50代の幹部職員についても、データの受信状況の上司への報告を

怠り、男性職員2人の指示をしなければならなかった。書面訓告とした。また、災害対策等性職員2人は、職有すべき電子メールを消去したとして、意処分とした。



除染の工程の説明に耳を傾ける地域住民ら＝福島市渡利

「未来への扉」 Peaceひとりひとり笑顔は違うけど… Peace願いはひとつ 穏やかなその瞳 出会いと別れは必ずやってくるけど 僕らの心には 永遠の宝物 果てない空へ飛び出すよ たとえ辛くても 傷ついても 誰かそばで君を支えてくれる 僕らは不安と悲しみを 必ず乗り越える 与えられた大切な命さ 未来への扉 (略)

感謝歌ってCDに

福島や岩手、宮城、茨城の被災4県の人々が震災支援への感謝の気持ちを歌う「被災地発信ソング」を「ティートックレコーズ」(東京都渋谷区)が企画し、29日から歌ってくれる人の募集を始める。県内では福島市、いわき市、郡山市の3会場、4県合計11カ所でレコーディングし、一つにまとめてCD化する。岩手県一関市出身の金野貴明社長(36)が被災地のF.M局を回ったり募金をしたりしながら、レコード会社に出る

県内3会場の参加者募集

支援は何かを考え続けた結果、「被災地の人たちが支援に対する感謝の気持ちを伝える、被災地からのメッセージソングをCDにする」という企画を思いついた。歌ってもらう「被災地発信ソング」は自ら作詞、作曲した。題して「未来への扉」。同社は「支援に対する感謝の気持ちを世界に発信することで、被災地と世界とのつながりを示し、東日本大震災や各地で起きている災害が他人事ではないことを示したい」

と説明している。1カ所で100人の参加を期待している。収益は、世界の子どもたち役に立てるため、寄付する計画だという。レコーディングは郡山市が7月14日午前9時から、ミューカルがくと館大ホールで。いわき市は同日午後2時から、福島市は7月21日午前9時から。場所はともに未定。参加申し込み、問い合わせは同社(03・58825・4371、29日と平日の正午5時午後7時)へ。

福島

福島総局 7960-8103 福島市舟場町1-28 024-523-3571 024-521-0305 いわき支局 7970-8026 いわき市平田町120 0246-23-0241 0246-23-0149 郡山支局 7963-8876 郡山市麓山1-1-7 024-922-0563 024-922-0584 0242-22-8444 0244-22-2463

きょうの天気 6-12時 降水確率 12-18時

60	福島	80
60	郡山	80
80	白河	90
30	会津若松	80
20	小名浜	50

湿度 70% 波 3.0m

最高	最低
16度	10度
15度	10度
13度	12度
17度	10度
14度	10度

4月27日(旧暦3月7日) 日出 4.47 日入 18.25 月出 8.51 月入 23.24 月齢 5.8

気温 4月25日

福島	白河	小名浜
最高 21.8	21.5	18.5
最低 12.2	13.8	11.6
最高 9.5	10.9	12.6
最低 11.5	14.5	13.9

潮 27日・小潮

満潮	6.01
小名浜	20.27
干潮	0.26
潮	13.25

角神温泉 ホテル角神

こだわりの ひきたて、打ちたて 「三立」を賞賛